

被爆者の声を聞き 日本政府は核兵器禁止条約に参加を

1月24日から第217回通常国会がはじまりました。
被爆80年の年を迎え、唯一の戦争被爆国である日本
の果たす役割が問われています。

石破茂首相は、施政方針演説で日本被団協のノーベル
平和賞受賞も、1月22日に発効4周年を迎えた核兵器禁
止条約にも一言も触れず、日米軍事同盟(『核の傘』)を
いっそう強化すること、過去最高の8兆7000億円を超
える軍事費(防衛費)予算の推進を表明しました。

ロシアのウクライナ侵略、イスラエルのガザ攻撃を見
ても、「軍事」対「軍事」、「核」対「核」の対応では、最悪の場
合には核戦争へのエスカレーションを招くだけで、平和
と安全は実現しません。

国会で、被爆者の証言、核兵器廃絶の思いを聞く機会
をつくるなど、核兵器禁止条約への参加、核兵器禁止・廃
絶へ真剣な議論を交わし、その先頭に立つべきです。核
兵器禁止条約第3回締約国会議への、日本政府のオブ
ザーバー参加は、当然です。

石破政権は、日米軍事同盟の強化、米国の
「核の傘」への依存をきっぱりやめ、核兵器
禁止条約に参加し、被爆国としての役割を
果たすべきです。

核兵器禁止条約に参加する日本の実現
へ、私たちの声を大きく広げましょう。
(2025年2月6日)

2025年1月22日 衆議院第一議員会館
禁止条約参加署名共同提出(第5次)のつどい



政府に提出した核兵器禁止条約参加を求める声

累計 **1,723,463** 人分

2025年3月3~7日

なぜ
第3回締約国会議に
オブザーバー参加すらしなの?

“核使用は現実の危機としてある。
オブザーバー参加は最低条件で、
廃絶議論の先頭に立つことこそが被爆国の責務だ
田中熙巳さん(日本原水爆被害者団体協議会 代表委員)

オブザーバー参加は、

「会議への出席」であって、「法的地位」で
はありません。出席しても、条約上の義務
を課されることはありません。

締約国会議に参加した国

2023年第2回締約国会議には、35か
国がオブザーバーとして参加。「核の傘」
の国である、オーストラリア、そして
NATO(北大西洋条約機構)加盟国のベル
ギー、ドイツ、ノルウェーが参加。ベルギー
とドイツは、「核共有」国でもあります。

「日本政府に核兵器禁止条約への参加・批准を求める署名」にご協力ください オンライン署名 ▶

国連認証NGO: 原水爆禁止日本協議会(日本原水協)

〒113-8464 東京都文京区湯島2丁目4-4

TEL 03-5842-6031 HP: <https://www.antiatom.org>

E-mail antiatom55@hotmail.com

